



シマネスク 島根

# 企業による耕作放棄地の解消

益田市 株式会社キューサイファーム島根

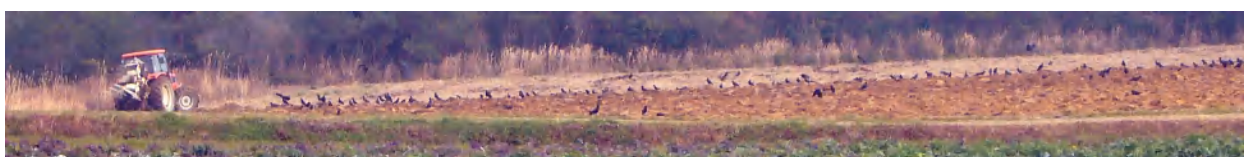


## 1. 株式会社キューサイファーム島根の概要

株式会社キューサイファーム島根は、「青汁」の原料のケールを無農薬・無化学肥料で栽培し、顔の見える、安全で安心な食品生産を取組方針とされています。

ケールを安定的に確保するために、平成10年に益田市の国営農地開発地に進出され、益田市内の畜産法人と連携した地域内の循環型農業の確立（ケール絞り粕と堆肥の交換）や、間作での緑肥作物栽培による土作りにも取り組まれています。

また、雇用の場の創出や、地元農家との取引による地域に根付いた企業活動を展開されています。これまでの取り組みを取締役営業管理部長の入江さんにお聞きしました。



### 無農薬、土づくりなどの成果

2月のほ場。耕起をするとミミズが地表に掘り起こされる。それを狙ったカラスが直線状に集まっていた。

## 2. 株式会社キューサイファーム島根の活動

### 国営農地開発地での農業生産活動

一進出先として、益田市の国営農地開発地を選定された事情は。

入江さん 一番の利点は、ほ場に必ず水が来ていること。夏はどうしても水が必要なので、これは助かっている。



### ほ場に植えられたケール

広大な開発地に整然とケールが植えられています。右下は製品の青汁。

益田市の国営農地開発地には、高津川からポンプアップされた水が供給されています。高津川は国土交通省河川局が実施された「平成18年全国一級河川の水質現況」で1位になった清流です。

農地がまとまっているのも理由だった。当社では無農薬栽培をしており、周辺からの農薬の飛散の危険を少しでも避けるために、まとまった農地が必要だった。今でも農薬の飛散には注意している。周囲の農家の方に、風のない日に散布するようお願いしたり、散布する時間や風向きを考えていただくようお願いしている。

また、日照時間が日本一長いと聞いていたのも理由だった。結局、そうではなかったが…。

—国営農地開発地に参入されて、どのような課題がありましたか。

**入江さん** 参入当初、農地が荒れていたため、多大な投資が必要だった。3年間は収量が思わしくない年が続いた。

農地には傾斜があり、排水は良かったが、斜面の方向に沿って畝を作るとマルチを抑える土が流されてマルチが飛んだり、傾斜の方向と垂直に畝を作ると水がたまったり、今はうまく出来るが、当時は大変だった。

—現在の課題は。

**入江さん** ほ場条件が割といいな、と思っていた畑の隣に草むらがあつたが、その草を農家の方が刈ったら、一気に虫が畑に入ってきたということがあった。草むらに居着く虫もいるし、飛んでくる虫もいるし、継続して刈っておかないといけない。耕作されていない畑の所有者の方に、そこの畑の雑草を当社で刈らせてくださいと申し出ても、どうしても刈らせてくれない方もいらっしゃる。

同行していただいた益田市の担当者によると、「平成19年の秋は残暑が長引き、ヨトウムシやコナガ・モンシロチョウが大発生し、全滅した畑もある」とのこと。

他には、いろいろ経営を考えると、現在使われていないビニールハウスや農地の情報をすぐに入手できるようにしていただければ助かります。

## ● 耕作放棄地を畑に復旧

—75aの耕作放棄地を復旧されたそうです。広大な開発地で、耕作放棄地を解消された事情は。

**入江さん** 土地の持ち主が同じで、畑と耕作放棄地のまとまった土地があった。まとめて貸していただけるということで、木を切り、抜根し、畑にした。また、この土地の周りが当社の畑だったり、借りている畑だったので、面的なまとまりを作るために復旧した。

その時だけでなく、畑の周囲の木を切ることもあるし、大きな石がけっこうゴロゴロ出てくるので、除礫が必要なこともある。

益田市の担当者は、「企業の大型機械による機動力があつたので、このように復旧できた。個人の農家での復旧は無理」と話していました。

—耕作放棄地の復旧では費用が問題となり、復旧につながらないことが多いのですが。

**入江さん** 確かに費用はかかるが、土地を借りる期間などを長い目で見たところ、収穫量の確保の方が優先だったので、復旧しようとした。

個人の方と一年更新で借地契約を結んでいる土地とは、お金のかけかたも多少変わってくる。一年更新にしているのは、土地が良くなったら、もう一回農業をやりたいという方もいらっしゃるかも知れないし、将来、息子さん、娘さんが帰ってきて農業をやるかもしれないという方も結構いらっしゃるだったので、一年間更新の方が分かりやすいということで。

ただ、ほとんどの方からは「土地を買ってくれ」と言われるが、最初の投資が負担となっていて、土地を買うまでの投資は出来ず、しばらくは借地でやっていこうと考えている。



**耕作放棄地の復旧**

写真左のような土地を畑（写真右）に復旧されました。